



学校通信

令和5年度 第6号
令和5年 10月 2日
練馬区立開進第三小学校
校長 岡部 良美



糸偏 (いとへん) から学ぶこと

校長 岡部 良美

今年度の折り返し点であり、さらにステップアップするスタートの10月になりました。今日は『H』と『糸偏』をもとに、私の考えをお伝えします。

英語の単語の中で、とりわけ『H』の頭文字が付く単語は、『人間に関わるものが**多い**』とされています。例えば、人間の体を上から探っていけば、hair (髪の毛)、head (頭)、hand (手)、heart (心臓)、hip (腰)、heel (かかと) が挙げられます。また、生活場面を考えると、hour (時間)、house (家、施設)、hanger (ハンガー)、happiness (幸福)、harmony (調和)、hat (帽子)、home (家庭)、help (援助)、health (健康)、hello (こんにちは)、holiday (休暇)、hobby (趣味)、honest (正直)、homo sapiens (人類)、hope (希望) などが挙げられます。

では、日本語ではどうでしょう。人間関係で大事にされているのは、『**心の糸**』ではないでしょうか。そこで、『**糸偏**』について考えてみました。集団のことを組織と言います。組織の「組」も「織」も共に糸偏です。そこに意味するものは、『**心の糸で結ばれている**』からこそ、組織として成り立つものというメッセージが込められているように感じます。今、記した「結ぶ」の「結」もやはり糸偏です。「絆」「級」「約」「納」「紡織」「紋」「紹」「紳」「給」「統」「絡」「継」「続」「維」「綱」「緒」「総」「練」「縁」「綱」「緘」「縄」「線」「編」「経緯」「縦」「縫」「縮」「繕」など、枚挙に暇がありません。しかしこれらをよく見てみると、『**心と心が繋がっていたり、それぞれの人**が互いに関係し合ったりしている』からこそ、糸偏の字ができていくように感じます。人間を英語で言えば、『**HUMAN**』です。やはり『**H**』の単語です。これからも人間に関わる『**H**』を大切に作る人間味あふれる生き方をする子供たちや、『**HEART**』である「**心と心が繋がっている**」『**糸偏**』が意味する生き方を大切に作る子供たちを育てていきたいと思えます。

開三小の子供たちは、年間ループリック『よいところみつけ名人』『よいところのばし名人』の深まりのある達成に向けて動き出します。表面的には「名人」になっても、心から「名人」にふさわしい、自分で「名人」と誇れる言葉や行動をとれるように深まってほしいと考えています。今年も、代表委員会の子供たちが6年目の「よいところみつけ名人キャンペーン」を計画しています。私も全校朝会の中で、深まりに結びついていくよう語り掛けていきます。その変容を10月の土曜公開時にお示しできればと考えています。開三小の子供ならできると信じています。

6年生からの私への提案で、11月17日に、三桜絆まつり(旧開三交流まつり)が、復活します。